

編集 後記

本号には原著3編と公衆衛生活動報告1編を掲載しています。原著の1編目は地域高齢者の余暇活動の尺度を開発して認知機能との関連をみた研究であり、尺度の計量心理学的特性が確認されています。2編目は東日本大震災の避難所における弁当および炊き出しについてエネルギー・栄養素の提供の実態を分析した研究であり、弁当に炊き出し等を柔軟に組み合わせる必要性を示しています。3編目は妊娠間隔別に母親の育児負担感をみた研究であり、妊娠間隔が短くなるほど母親の負担感が増大する可能性を示しています。また、公衆衛生活動報告の1編は、福岡県における在宅医療推進事業の評価方法の見直しに関する報告です。地域包括システムの構築において、有益な資料になることと思います。いずれの論文も公衆衛生学的に重要な知見が得られており、会員の皆様にはご専門にかかわらずご通読いただけると幸いです。

なお、本号には第66巻第3号に掲載した論文に関する訂正を掲載しています。訂正記事としては異例の5ページにわたる分量であり、誤った表記を掲載前に見つけられなかったこと、編集委員長として遺憾に思います。今後、編集委員会としても気を引き締めて審査を進めたいと思います。

(西 信雄)

次号予告 (第66巻・第11号)

原 著

介護予防を目的とした郵便による食習慣介入の効果：積雪・寒冷・過疎地域在住高齢者における検討……………木村美佳，他
常勤・非常勤保健師のマンパワーと標準化死亡比の関連：全国の市町村を対象とした生態学的研究……………兒玉慎平，他
揺さぶられ症候群の予防のための泣きに関する教育的動画の視聴効果：乳児期の子どもをもつ親を対象とした介入研究……………伊角 彩，他

資 料

地域保健に関わる住民組織の特徴と課題：全国市町村への調査……………田口敦子，他